

図書館だより



2022年10月 相可高校図書館

文化祭 図書委員会企画「クイズ屋さん。」へ
ご参加ありがとうございました！

50個限定の がっつい10問クイズは、
見事すべて完売！

※販売はしていません、無料で参加！

3問クイズと合わせて

のべ**100名**くらいの参加がありました！

また来年度も楽しい企画を考えたいと思います！



秋の読書週間キャンペーン！
HAPPY HALLOWEEN!

期間：10月21日(金)～10月31日(月)の
昼休みと放課後

場所：図書館カウンター

内容：期間中「**HAPPY HALLOWEEN!**」と声をかけて
本を借りると **お菓子すくい** ができます！
ぜひご参加ください。※お菓子がなくなり次第終了



秋はやっぱり・・・読書の秋!!



図書委員のおすすめ本を一挙大公開!

その1

★『小説の神様』 相沢沙呼
売れない高校生作家の千谷一也と同年の人気作家の小余綾詩風は、二人で合作すること。物語を書く意味を見いだせない一也と「小説の神様」を信じる詩風による小説への向き合い方を考えさせてくれる青春ストーリー。

★『桜のような僕の恋人』 宇山佳佑
この本は私が初めて買った恋愛小説です。ラストで涙すること間違いなしの切ないラブストーリーです。普段恋愛小説を読まない方にもオススメですぜひ一度手に取ってみてください！



★『きみが来た場所』 喜多川泰
不思議な飴であるルーツキャンディを通して主人公は自分の先祖の過去の垣間見ていきます。その中で主人公は、今の自分がすべき事に気づいていきます。これを読めば貴方も生きる上で大切な事に気づけるかもしれません。自分の生まれた意味や使命を考えさせられる一冊です。

★『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見夏衛
全てにイライラした主人公の女の子が、ある日戦時中へタイムリープするお話です。その中で佐久間彰と出会い、惹かれていきます。ただ、彼は特攻隊員で命をかけて戦場へ飛び立つ運命であった。主人公はのちに彼の本当の想いを知ることになる。現代からすると理解し難いことばかりな中での2人のお互いへの想いにとっても感動します。

★『四畳半神話大系』 森見登美彦
理想であった薔薇色のキャンパスライフとはほど遠いところにいる冴えない大学三回生の「私」。悪友の小津、謎の自由人である樋口師匠、なかなかお近づきになれない明石さんが取り巻く面白おかしいほろ苦い青春ストーリー。4つの平行世界で「私」が迎える世界とは!